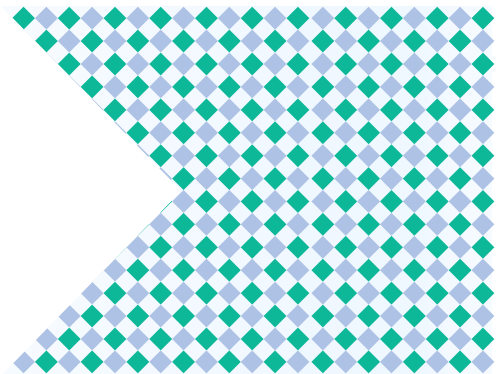


GPN Column

グリーン購入ネットワーク コラム Vol.27



FSC® 認証 —持続可能な天然ゴムのバリューチェーン構築— 河野 絵美佳

(FSCジャパン マーケティング&広報担当)

■ FSC 設立の背景とその概要

国連気候変動枠組条約第 26 回締約国会議 (COP26) が開催され、気候変動対策への関心がますます高まっています。地球温暖化の原因とされる温室効果ガスの約 7 割を占める CO₂ の重要な吸収源として、森林保全が世界的な課題となっていますが、国際連合食糧農業機関 (FAO) が発表した「世界森林資源評価 (FRA) 2020」の報告書によると、世界の森林面積は 1990 年以降減少を続けており、その面積は 30 年間で 4 億 2,000 万ヘクタール (日本の国土面積の約 11 倍) に及びます。

このような森林破壊の原因には、農地・牧草地・植林地への転換や、違法伐採、森林火災、鉱物採掘などが挙げられます。これらの森林破壊に伴い、絶滅危惧種を含む野生生物の生態系への悪影響や、生物多様性の消失、森林で伝統的な生活を営む先住民族を含む地域住民との紛争、労働者の人権侵害など、森林をめぐるさまざまな環境・社会問題が発生しています。

このような森林の問題を解決することを目的に、1994 年に 26 カ国の環境 NGO・林業者・林産物取引企業・先住民族団体などが中心となって設立されたのが Forest Stewardship Council® (FSC、森林管理協議会) です。現在はドイツのボンに国際事務局を置き、環境保全の点で適切かつ社会的な利益にかなない、経済的に継続可

能な責任ある森林管理を普及させることを目的に、FSC 認証制度を運営しています。

FSC 認証とは、FSC が定めた規格をもとに、適切に管理されていると認められた森林から生産された木材や、その木材を使用した製品に FSC ラベルを付け、認証製品として販売できる制度です。FSC ラベルを目印に認証製品を選んで購入することで、認証された森林資源への需要が高まり、適切に管理された森林の拡大につながります。

FSC 認証は、森林の管理を認証する FM (Forest Management) 認証と、加工・流通過程の管理を認証する CoC (Chain of Custody) 認証の連鎖から成り立っています。FSC 認証製品が消費者の手に届くまでには、最終製品になるまでの生産、加工、流通に関わるすべての組織が認証を受けなくてはなりません。また、FSC 認証の審査・発行は、FSC ではなく、FSC 認証等の自主的な持続可能性規格に基づいて審査を行う認証機関が行います。このように、制度運営と基準づくりを行う FSC と、審査を行う認証機関が分けられていることで、多くの国々の消費者、環境団体、先住民族団体、



[続きはGPN会員専用ページからご覧いただけます。](#)